

2018(平成30)年度使用

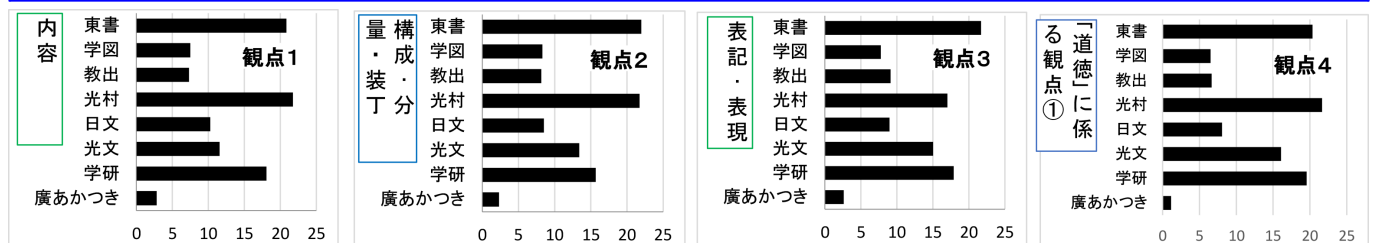
教科になった道徳 初めての教科書採択

小学校「特別の教科 道徳」教科書採択は8月2日

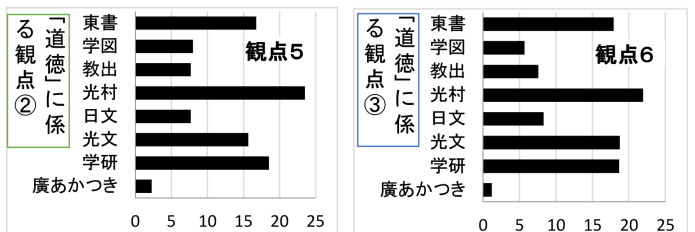
教科用図書調査書 集計結果 子どもの実態を知る現場の意向は大事

藤沢市平成30年度使用教科用図書の採択方針は、『6月に、小学校長に小学校教科用図書の調査研究を行わせ、「教科用図書調査書」を提出させる。』としています。この調査書は、藤沢市立の35の小学校で、7つの観点(2面参照)で調査研究し、観点ごとに適切なものに○をつけ、理由を記入して作成し提出されます。この調査書は、子どもたちに寄り添う現場教師の意向を反映しています。採択において、この調査書は大いに尊重されるべきです。みんなの教育・ふじさわネットは、情報公開された調査書を独自に集計し、グラフ化しました。(4面に○の一覧表があります。)

【発行者略称】東書:東京書籍、学図:学校図書、教出:教育出版、光村:光村図書出版、日文:日本文教出版
光文:光文書院、学研:学研教育みらい、廣あかつき:廣濟堂あかつき



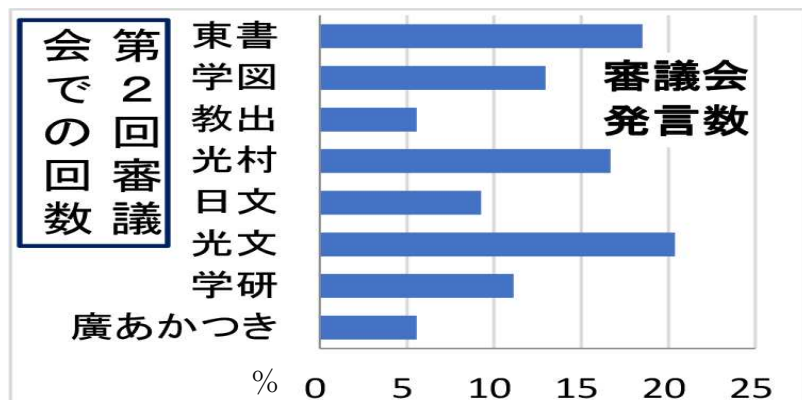
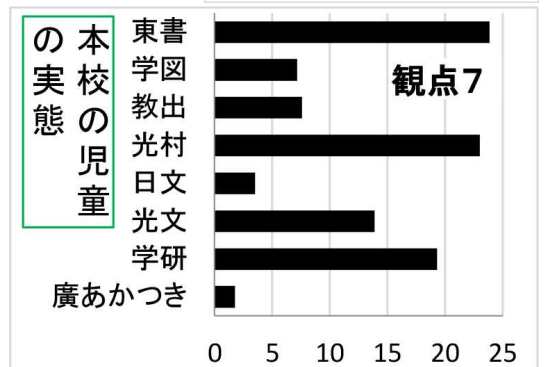
- 1) 観点の詳しい内容は2面表参照
- 2) 今回の調査書では、各観点とも複数の教科書に○をつけている(4面表参照)。グラフ作成では、学校ごとおよび観点ごとの重みが同じになっている。
- 3) グラフの横軸はすべて%



答申は議事録と発言のまとめ 採択審議委員会

7月12日、第2回教科用図書採択審議委員会が行われ、委員は事務局作成の調査書のまとめ、展示会での市民意見書のまとめ等を手にして審議を行い、教育委員会への答申は議事録と委員の発言を発行者ごとにまとめたもの(審議会委員長作成)をあわせて提出すると決定しました。

下のグラフはこの審議会で、委員が発言で取り上げた回数を発行者ごとにまとめたものです。(発言の長さ等は考慮していない。)



みんなの教育・ふじさわネットは、6月7日に教育委員会と採択審議委員会に請願と要望を行ってきました。

藤沢市教科用図書採択審議委員会あて 教科用図書採択審議会への要望書(6月)

1. 貴審議委員会から教育委員会への答申について

- ①教育は、現場の先生方と協力して初めて実現できるものであることから、教育委員会が採択にあたり、現場の各校長先生方から提出された「教科用図書調査書」を最大限重視するように、答申して下さい。
- ②藤沢の子どもたちにふさわしい教科書について、総合的に判断し、貴審議委員会として推薦する教科書がわかるようにして、答申して下さい。

2. 貴審議委員会での審議について

- ①各校長先生方から提出された「教科用図書調査書」を、貴審議委員会できりあげて、審議して下さい。

藤沢市教育委員会(教育長 平岩多恵子)あて 「教科書採択」についての請願(6月)

- (1)教科書の採択にあたっては、教科書採択審議委員会の結果を踏まえ、各学校の校長先生から出された「教科用図書調査書」の内容をとりあげて、これを最大限に尊重して審議し、採択して下さい。
- (2)教科書の採択に当たっては、先生方が子どもたちの発達段階に応じて、いろいろ工夫ができて、自由で、多様な考えを尊重できる教科書を採択して下さい。
- (3)藤沢の子どもたちにとって、平和学習や国際教育に関連づけて、一人一人の違いを認め合える人権の視点を大切に、じっくり考えられるような教科書を採択して下さい。

また、採択審議委員会委員長(高谷潔)には、採択審議委員会規則に則って進行運営することを求める要望書を提出。規則に、「委員会の議事は、出席した委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる」とあり、挙手等のはっきりわかる議決を求めました。

7月には、採択審議委員会に、次の内容の要望書を提出。審議委員会後、同様を教育委員会にも提出しました。

1. 教科用図書採択審議委員会において、「教育における政治的中立の原則」に十分留意して、慎重に審議をお願いします。

【教科用図書調査研究の観点】 ☆観点1～6は神奈川県教育委員会と同じ。観点7は藤沢市独自。

観点1. 内容

- 内容の程度は、児童の発達の段階に即して適切であるか。
- 既習内容を定着させるため、繰り返し学習させる内容は充実しているか。
- 社会的状況を反映した題材を取り上げ、児童が興味を持って学習できるように配慮されているか。
- 他の教科等との関連が必要に応じて取り上げられているか。
- 一面的な見解だけを取り上げているところはないか。
- 児童の理解や習熟の程度に応じた、発展的な学習の内容の取扱いは適切であるか。

観点2. 構成・分量・装丁

- 内容は全体として系統的、発展的に構成されているか。
- 各内容の分量とその配分は適切であるか。
- 体裁がよく、児童が使いやすいように配慮されているか。

観点3. 表記・表現

- 文章表現や漢字・かなづかい・用語・記号・計量単位・図版などの使用は適切であるか。
- 文字の大きさ・字間・行間・書体などは適切であるか。
- 文章・図版などの割付けは適切であるか。

観点4. 「特別の教科 道徳」に係る観点①

□道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。

観点5. 「特別の教科 道徳」に係る観点②

□自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫がされているか。

観点6. 「特別の教科 道徳」に係る観点③

□問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等は適切に取り上げられているか。

観点7. 本校の児童の実態や地域等の特性との関連

- ・本校の児童の実態から見て適切であるか

8月2日(水)14:00開始 臨時教育委員会で教科書採択

場所:藤沢市民会館1階第2展示集会ホール
音声を聞くことは実現 小ホールで(席数 434)

傍聴定員100人
大きな会場要望に応えず

教育委員会のホームページに掲載された傍聴についての案内は次の通りです。

- ・傍聴の申込みの受付時間は、午後1時30分から午後1時40分までになります。
- ・受付時間終了(午後1時40分)の時点で、傍聴の申込みが定員(100名)を超える場合は抽選を行い、傍聴者を決定します。
- ・受付時間終了(午後1時40分)の時点で、傍聴の申込みが定員(100名)に達していない場合は、引き続き定員に達するまで受付を行い、申し込みの順で傍聴者を決定します。
- ・抽選により傍聴ができない方は、小ホールにおいて音声を聞くことができます。

2011年2015年の採択では傍聴希望者は定員100人を大きく上回り、傍聴をあきらめざるを得ない人がたくさんいました。これまで、みんなの教育・ふじさわネットは、藤沢市教育委員会に、大きな会場を準備し傍聴定員を増やすこと、定員を超えたとき、別会場で音声をきくことができるよう求めてきました。今回、会場・定員はこれまでと同じで変わりがなく、大きな会場をという要望には応えていません。しかし、7月18日ホームページ上に小ホールで音声を聞くことができると発表しました。要望の一部が実現しました。

今回の採択では、①調査書のまとめ(○を集計し一覧表にしたもの、文章記述を発行者ごとにまとめたもの)が作成され、採択委員に配付されたこと、②教科書展示会で書かれた市民の意見書のまとめが作成され採択委員に配付されたこと、③これらのまとめが第2回採択審議委員会の翌日には情報公開されたこと、④定員を超えても音声での傍聴ができることなど、情報を公開し、開かれた教科書採択にしていく上での前進があります。問題は8月2日の採択。多くの市民が参加し、しっかり見守りましょう。

教育出版は隠れ育鵬社？ 教科書の政治利用は許されない

教育出版(教出)道徳教科書(5年)には、右の写真と同様の写真が載せられています。右の写真は下町ボブスレーのフェイスブックやブログに掲載されているものです。これは、2013年6月30日永田町の自民党本部で行われた「中小企業・小規模事業者政策緊急フォーラム」で撮影されました。ブログには、「ボブピースしてもらいました！ソリがソリに乗った(笑)ー 友達: 甘利明、安倍晋三、細貝淳一、横田信一郎」との記載があります。

教科書検定基準には、「図書の内容に、特定の個人、団体などについて、その活動に対する政治的又は宗教的な援助や助長となるおそれのあるところはなく」とあります。

教育の政治的中立を侵すこの教科書が検定に合格したのは大いに疑問です。

教育出版道徳教科書の監修者である柳沼良太(岐阜大学大学院准教授)と貝塚茂樹(武蔵野大学教授)の二人は、「はじめての道徳教科書」(発行育鵬社、販売扶桑社)の編集委員メンバーです。

今回、育鵬社は道徳教科書を作っていません。しかし、教育出版の道徳教科書は、教育出版を隠れ蓑にした育鵬社の道徳教科書とも見えてきます。要注意です。注視しましょう。



教育出版(教出)道徳教科書(5年)補充教材「下町ボブスレー」に同様の写真を掲載

教育出版(教出)の道徳教科書

- ①礼儀・マナーの徹底(編集の趣意と特色)
- ②写真を載せ、「国歌が流れたらみんなで一緒に歌います」と記述(2年)
- ③日本会議国会議員懇談会の事務局次長赤池誠章参議院議員が愛国心で唯一教育出版に及第点をつけ、採択を支援・推進する動き

(おじぎのしかた) →



